

縮小社会研究会 第 62 回研究会



日時：2022年5月25日(水)、19:30-21:00
オンライン(zoom)

新型コロナウイルス、ロシアのウクライナ侵攻、激化する気象災害と国際的な食料需給は逼迫しつつあります。国内に目を転じれば農家は減る一方、耕作放棄地も高止まりしています。食料危機に備えるため、どうしたら国内農業を再建できるのでしょうか。第一人者にお聴きします。

日本農業再建の道筋

講師：鈴木宣弘さん (東京大学教授)

講演要旨： ロシアのウクライナ侵攻が長期化するにつれて、世界の食料需給が逼迫しています。ウクライナの小麦、トウモロコシに依存した諸国ではさっそく食料危機が危惧されています。ロシアは天然ガス、小麦、窒素肥料を戦略物質として利用しています。カロリーベースで37%しか食料自給率がない日本。国内農業で使う燃料、化学肥料、農薬の大半も輸入に依存しています。気象災害が激化する中、日本農業を再建するにはどうしたらよいか、鈴木宣弘先生にお聴きします。

鈴木宣弘 (すずきのぶひろ) さんの略歴： 三重県志摩市出身。東京大学農学部卒。農林水産省、九州大学農学部教授等を経て2006年9月から東京大学大学院農学生命科学研究科教授。国民のいのちの源である「食」と「農」の価値を訴え続けている。著書にベストセラー『農業消滅』(平凡社新書)がある。

参加費： 会員は無料、非会員は1000円

参加登録： 会員の方は長谷川理事(yuki_gakkai@icloud.com)まで連絡願います。非会員の方は、下記のpeatixから申し込みください。
<https://peatix.com/event/3243654/view>

Zoom ミーティングの URL：

<https://us02web.zoom.us/j/88392696991?pwd=MWwyOW5TeFp5d3VveUZuSE1iOXE3QT09>

ミーティング ID: 883 9269 6991

パスコード: 314669